



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局
〒078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1
発行人（局長）
稲留 駿斗
（電気科3年）

工高祭 応援号1

ポスターは谷さんが制作

「暑い夏をイメージした」

第51回工高祭の開幕まであと11日となった。今日からクラス企画やクラスステージ、模擬店、科展示などの準備が本格的に進められる。新聞局では工高祭の準備から閉祭式までの様子を取材し、「工高祭応援号」として工高タイムスを発行する。

今年の工高祭ポスターの原画は6月2日に発表され、谷藍衣さん（化3）の作品が選ばれた。原画はアクリル絵の具を使い、構想も含め4日間

谷さんは工高祭ポスターのコンセプトを「暑い夏をイメージして描いた。毎年、工高祭には小学生が多く来場しているので、地域に根差したなじみやすい少年の絵にした」と語った。

工高祭について「小学生や保育園児などたくさんの子どもたちに来てもらいたい。科展示やクラス展示など学びや遊びもあるので思い切り、高校の学校祭を楽しんでほしいし、また、クラスステージや模擬店、花火などで夏祭の雰囲気味わって良い思い出にしてほしい」と話した。

暑い夏をイメージし、小学生をターゲットにした工高祭ポスター。



旭川東高との差を縮めたい ペーパーテストで90点以上を

山岳部

山岳部は5月20〜22日に上ホロカメットク山と十勝岳で行なわれた第65回北海道高等学校登山競技大会旭川支部予選会で優勝し、6月23〜26日に雄阿寒岳と斜里岳で行なわれる全道大会への出場を決めた。競技は1パーティー4人で1人が天気図、3人が登山コースの地形や登山に関する基礎知識などが出題される試験を解き、登山の実技審査などがある。

部長の野々村悠哉君（土3）は「大会に向けて、学校の外周を走り体力を付ける練習をした。筆記面ではペーパーテストを週何回かに分けて行ない、全員が高得点を取れるようお互いに励ましながらか勉強した。また、下見登山で標高や木・花の名前、山頂から見える他の山の名前をコンパスを頼りに当てるなど、テストに出そうなところをチェックして本番に備えた。支部大会では規定時間より早く山頂に着き、疲れた人がいなかったのが体力面で良かった。筆記面では事前の計画書の審査とマナー点が減点なしで通ったこと、炊事審査の点数も良かったこと、ペーパーテストの点数も事前の練習より高い点数が取れた。行動中のテストの減点、装備点検での不足、ペーパーテストの点数差が課題。全道に向けて体力面での減点をなくし、行動テストとペーパー

全道優勝を目指す山岳部のパーティー



テストで高得点を取れるようにしたい。支部優勝校の旭川東高校との差を縮め、全国出場に向けて体力面の減点をなくし、ペーパーテスト90点以上を取って全道優勝し、けがなく無事帰ってくることを目標に頑張りたい」と語った。



工具箱

私は小学6年生の時から年2〜3回、東川町の永楽寺で行なわれている子ども食堂のボランティアに参加している。子ども食堂とは、地域の人たちが子どもたちに無料または安い料金で食事や交流の場を提供し、安心して過ごせる居場所をつくる活動だ。父が勤めている会社の組合がこの活動に参加しているため、父に誘われて参加するようになった。15人程度の大人の方と協力して作業をしている。作業内容は季節に合った料理を作ったり提供することで、夏にはかき氷やフランクフルト、豚汁、チョコバナナ、チュロスなどの食べ物の他にヨーヨーを作ったりヨーヨー釣りをした。冬には雑煮やもち米からもちを作り、みたらしを自作して味付けをした。活動では料理を作るだけでなく、会場の準備や後片付け、参加者への声かけなども行なっている。笑顔でおいしそうに料理を食べる子どもたちや保護者の方々を見ると、とてもやりがいを感じる。そして高校生の自分が大人の方々と協力して一つのイベントをやり遂げることが出来る。この活動を通して、周囲と協力することの大切さや人のために行動する喜びを学んだ。今後も積極的に参加し、地域に貢献していきたいと考えている。子ども食堂は準備する側も、参加する側も皆が楽しくなれる行事だ。皆さんもぜひこういったボランティア活動に興味を持って、参加してほしい。（化2長野）